

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒 194-0211
東京都阿田市相原 1857
長谷川 あや子 TEL : 042-771-6962
FAX: 042-771-6962
E-mail : ayako.h3@nifty.com

2015 年 11月

第245号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子
副会長 中塚 辰生 望月 隆珉
書 記 山本 英次
会 計 小口 多津子
林外会長 大久保 重子
担当主事 鳩山 徹郎
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清
直前会長 久保田 貞視

国際会長主題 Wichian Boornmapajorn(タイ) 「信念のあるミッション」
スローガン: "Count Your Blessing" 「恵みを数えよう」
アジア地域会長主題 Edward K. W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
スローガン: "Let it Begin with Me" 「まず自分から始めよう」
東日本区理事主題 渡辺 隆 (甲府): 「原点に立って、未来へステップ」
"Stand at the origin and take a step for the future"
あずさ部部長主題 標 克明 (甲府) 「ワイズメンとして一歩前進」
クラブ会長主題 長谷川あや子 (八王子) 「若い人の成長を願い、ともに歩む」

11月例会プログラム

担当B班: 辻、茂木、望月、並木、佐藤、久保田

日時: 11月28日(土曜日) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2F 大会議室

受付: B班 辻ワイズ、茂木ワイズ

司会: 久保田ワイズ

開会点鐘

長谷川会長

ワイズソングワイズの信条

一同

ゲスト・ビジター紹介

長谷川会長

聖書朗読・食前の感謝

並木ワイズ

会食

卓話: 「日本は中国とどう向き合うべきか」

中央大学名誉教授 齋藤道彦先生

スマイル

望月ワイズ

報告・連絡事項

会長・各担当

YMCA報告

スマイル金額報告

ハッピーバースデー

長谷川会長

閉会点鐘

長谷川会長

巻頭言

東京八王子ワイズメンズクラブ 10月例会を訪問

「中大学Yナイト」に参加して

あずさ部部長 標 克明 (甲府クラブ)

あずさ部部長公式訪問として、部から荒川洋一書記、小倉恵一会計、渡辺大輔ユース主査、並木信一会員増強主査、そして小倉香苗メネットで出席させていただきました。事前に長谷川会長から10月例会は「中大学Yナイト」としておこない、企画から当日の進行などすべてを中大学生が担当してくれますので、楽しみに来て下さいとお聞きしていました。初めての八王子クラブ例会出席で緊張しながら会場に着くと「こんばんは」と元気で明るい受付の女性が迎えてくれました。席に案内され例会が始まると司会者も中大学生で、これは他クラブの例会とはひと味違う会になりそう

先月の例会ポイント (10月)		BFポイント	
在籍	19名	切手 (国内・海外)	500g
メン	14名	累計	1198g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	74%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	17,295円
ゲスト	1名	累計	193,053円
ビジター	6名		
ひつじぐも	13名	オークション	0円
		累計	73,450円

(聖句)

「しかし、わたしの言葉を聞いているあなたがたに言うておく。敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にしない。悪口を言う者に祝福を祈り、あなたがたを侮辱する者のために祈りなさい。」(ルカによる福音書6章27節~28節)

な予感がしました。

この中大生ボランティアグループは「中大ひつじぐも」という名前で活動をしていてこの例会にはOBも含めて13名が出席していました。ワイズ内でよく聞かれる高年齢化などとはほど遠い感じを受けていると、部長挨拶をお願いしますと司会者のご指名がありました。部長公式訪問なので私の主題「ワイズメンとして一步前進」に関して話をさせていだこうと、用意をしていましたが、中大生を意識してか思わず私が20代の頃に投げかけられた質問、「君はなんの為に生きているのか」を思い出して、その話を始めてしまいました。

当時の私はそんなことは考えもせずに生活していましたので、返答に困って聞いていると「人間は人を育てるために生きているんだ」と、車中5分間位聞いていました。当時はただ聞いていただけですが、今少しは分かるようになりました。若い人は年齢の上の人を見て生活しています。ああなりたいとか、あんな人にはなりたくないとか・・・知らない間に年齢の上の人は若い人を育てていると思います。中大生も今は八王子ワイズメンバーに育てられ、やがては普通の生活をしているだけで後輩を育てることになると思います。「人間は人を育てるために生きている」という言葉を30年後に思い出してもらい、何かの機会にこの話をしてくたらうれしいです。

卓話も中大生。原田未央さんの「タイ・スタディツアーの活動報告」はすばらしかったです。「中大ひつじぐも」のメンバーでおこなったタイ・スタディツアーでの体験談、パヤオセンターについて知りましたし、人身売買に関して考えさせられました。今後もこの活動を継続するというのですが、話を聞いているうちに私たちも何か協力できないか、とも思いました。

その他にも八王子クラブの多くのすばらしい活動報告を聞き、私個人は「ワイズメンとして一步前進」したと感じた例会でした。

ありがとうございました。

タイステディーツアーに参加して

中央大学2年 原田未央

わたしたちは9月2日から9月9日にかけてタイへのスタディーツアーを行い、タイ北部にある「子供とその家族を人身売買および商業的性的搾取から守るための生活質向上プログラム」を行っているパヤオセンターという施設を訪問しました。この活動は中央大学YMCAが「中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも」として復活して以来続くひつじぐも独自の活動です。今回は例年の倍以上となる11人が参加し、子供たちとの文化交流や施設の修繕、人身売買および貧困についての勉強会を行いました。また、今回は日本で人身売買の被害にあっていた女性から直接お話を聞く機会を設けていただき、その壮絶な過去をお話していただきました。

パヤオセンターでは現在、人身売買の対象となる危険性が高いと判断された8歳から16歳までの男女40人がスタッフ10人とともに共同生活をしています。パヤオセンターの運営や料理、洗濯、掃除等ほとんどすべてのことを子供たちだけで決め、分担しながら生活し、学校にも通っています。生活に必要な知識は大きな子から小さな子へ教えられ受け継がれていきます。被害者女性と同じような経験をしてきたかもしれない子供達が、生活能力を身につけて卒業していくことは彼ら自身だけでなく次の世代の被害を食い止めることにもなり、さらには彼らが教育を受けることは地域の経済発展につながっていくはずで、今回改めてパヤオセンターの活動の偉大さを実感し、自分も誰かのためにできることを積極的にしていこうと思いました。この活動を通じて11人それぞれが様々なことを感じたと思います。日本に帰国した今、パヤオセンターが毎年わたしたちのスタディーツアーを快く受け入れてくださることや、長い間日本で人身売買の被害にあった女性が私たち日本の学生のために辛い経験をお話くださったこと等の意味をもう一度考え、この貴重な体験をさせていただいた者の使命として、11人のメンバー全員が何かしらの形でこの経験を活かしていければと思います。



第19回あずさ部会に出席して

久保田貞視

10月18日(日)甲府市の山梨県防災新館で第19回あずさ部会が開催され、長谷川会長、中塚副会長、小口会計と出席しました。第1部式典は標部長の開会点鐘で開始、部長挨拶では、部長主題「ワイズメンとして一步前進」のもと3か月経過した。他部では新クラブ設立の動きがあり、あずさ部でもアジア賞で頑張っている松本クラブのある長野県内にYMCAを設立しようという日本YMCA同盟の島田総理事の考えがあるが、ワイズもあずさ部内で新クラブ設立を進めてほしい、と。

渡辺隆理事の祝辞の後、事業主査と区事業主任と一緒に事業報告がありました。その中でもCSでは各クラブのCS事業の写真展を公募すること、国際事業ではRBMロールバックマラリア募金の依頼があり出席者の多くが寄付をしました。表彰伝達式では、既に国際から発表されたエルマクロア賞に直前あずさ部長の望月ワイズが、ブースター賞は東京サンライズクラブの小山ワイズが、田中直前理事より受領しました。

第2部の記念講演は、「ものづくりを通しての国際貢献—地雷除去に挑む豊かで平和な大地への復興—と題して、(株)日建代表取締役 雨宮清氏による講演がありました。雨宮社長は、15歳で上京し、最初は工員として働き、親方から鍛えられ、1970年4月に会社設立。1994年出張で訪れたカンボジアで老婆の「この国を助けてください。」の言葉が対人地雷除去機開発のきっかけとなった。カンボジア・アフガニスタンなどでは長年の内戦により多くの地雷が埋められ、120か国に1億個の地雷が埋められており1日70人が犠牲になっている。子供の頃母から「人のためになる人間になれ」と言われていたことも頭にあり「地雷除去により豊かで平和な大地へ」との思いで対人地雷除去機を開発し、地雷原を豊かで平和な大地にと、地雷を除去すると共に農地を開拓し、農産物を生産し、国を潤すことを自己の使命として、地雷除去機を製造し、自ら、現地で操業してきた。

すでに、多くの地雷汚染地域が肥沃な大地に蘇り、住民は農作物を販売し豊かな生活を確保して平和で安心して暮らせる日々を手に入れた。

社長の座右の銘は「技術者はモノづくりの挑戦者であり、技術の根源はモノづくり、ひとづくりにある」とし、人間は、使命感と目標をもって、人間の能力を最大限に高める必要があると締めくくった。こうした社会貢献と「命の大切さ、人の気持ちを分かり合うことの大切さ。」及び子供たちの国際交流活動の話は聴取者を感動させた。地雷廃絶については長年、当クラブもJCBL地雷廃絶日本キャンペーンを支援したこともあり、共通の目標を持って活動しており、特に共感を得た。

第3部の懇親会では、利根川次期理事の乾杯の音頭に続いて、美味しい料理とワインでの楽しい歓談とともに、アッピーールでは、当クラブ担当の在京ワイズメンズクラブ新年会への出席依頼をしました。

帰りは、特急「あずさ」に乗車。

YMCA 西東京センター ボランティアリーダーの夏の報告会

小口多津子

10月14日(水)に国立の西東京センターにて、武蔵野多摩クラブと八王子クラブとの合同例会と共に、西東京センターのリーダーさんの夏の成果発表と懇親会がありました。司会を武蔵野多摩の渡辺ワイズ、開会点鐘は宮内会長で始まりました。ワイズソング、参加者紹介、続けてこの夏に活躍されたリーダーさん達の報告会として、主な3つの活動の内容が各代表の人から映像を使つての細かい報告がされました。

夏の野外活動、YVLF(YMCA 山中湖センター)、そして、全国リーダー研修会(名古屋、YMCA 日和田高原キャンプ)に参加された内容でした。

西東京センターのリーダーさん達は普段は学生であり社会人です。でも一步キャンプ場に入ってボランティアで実際にリーダーをしている時は、どんなにか子供たちに気を使いながら、緊張感を一杯抱えて子供たちと付き合っている、その様子が強く伝わってきました。西東京センターにおいては、キャンプに向けて初めて参加のリーダーとOB、OGのリーダーを交えたトレーニングをしているとのこと。子供たちを預かるという大変な仕事に、今の若者たちの生き方、社会や人生の見つめ方をあらためて知ることが出来ました。

報告会が終わって、長谷川会長の閉会点鐘で合同例会は締めくくり、続いて、この日参加のリーダーさん達20数名、両クラブのワイズと共に感謝会(懇親会)を持ちました。いつも買い出しなどご準備をして下さる武蔵野多摩クラブのご厚意に甘えて、若者と我々ワイズとの軽食との交流は、話が尽きず本当に楽しい時間です。この時いつも私は、出会った若者に良く質問するのですが、「リーダーになろうとしたきっかけは?」です。やはり一番多い答えは、友達の薦め、友人がやっていたので、・・です。この年代の「友人」というのは昔も今も変わりなく一番大事な存在ですね。(八王子クラブ参加者:長谷川会長、久保田さん、山本さん、並木さん、小口)



ネズミによる地雷駆除

茂木 稔

最近の新聞記事にその駆除の方法が小さく書かれているのを見て、日本のネズミを想像していましたが、あまり良く分からないのでそれを更に知りたいと思つていところ、ある雑誌の中はかなり大きな記事を見つけました。その記事の元はロイター通信であることも分り、更にそれを調べてみたところ次の様なことが判明しました。

最近その地雷除去の方法に素晴らしい技術が開発されて実用に供され始めたという記事が、或る雑誌の世界短信というコラムに記されていました。その興味を引く記事を皆さんにも伝えたいと思い、ここにとりあげました。

それは、ネズミによる地雷除去チームであり、地雷の埋まった場所をわずか11分で嗅ぎ当て、人間が金属探知機で探したならば、まる5日間は要する範囲だったそうです。

激しい内戦を経験したカンボジアでは、今も地雷や不発弾による被害が続き、1979年以降19,700人が地雷で命を落とし、障害者は44,000人とされます。

11匹のネズミのチームは、アフリカオニネズミという種に属する、人になつきやすい性質で、鋭い臭覚を持ち、火薬の匂いを嗅ぎ分けます。尻尾を含めると体長90センチほどになり、ネズミとしては大型ではあるが、地雷の上を走り回っても爆発させる心配はありません。アフリカのタンザニア生まれで、生後4週間からベルギーにあるNPO「A PORO」による訓練を受けて、今年4月にカンボジアにやってきました。かれらの訓練には1頭に100万円くらい掛かるそうです。アフリカオニネズミはモザンビークやラオス、ベトナムなどでも活躍しています。

成功のご褒美にはバナナをやるそうです。ロイター通信社の記事ですが、これにより地雷除去が劇的に進むことを願わずにはいられません。早く必要な国にその技術が移転されて実用されることを期待したいものです。



49回中央大学白門祭

2年 牧野充幸

10月28日(水)～11月1日(日)の5日間、中央大学の学祭である白門祭が行われました。今年もひつじぐもではカフェをひらきました。店名は「ひつじの森Café」です。ひつじぐもの活動は盛り(森)だくさんで、それを知ってもらうことを考えて、「森」とつけてみました。

昨年はタイスタディーツアーにかけてタイ風カフェを行っていたことから、今年もなにかメインとなるものと考えたと思います。ひつじぐもの魅力とは何なのかを係で話し合いました。そして、共通して出た意見は、『いろいろな活動に自由に出ることができる』でした。そこで、壁展示と座っていても見られるパワーポイントでの展示がいいのではないのかという意見をそれ以前に頂いていたことも手伝って、活動紹介をメインにしようと考えました。

カフェのメニューは、タイコーヒー、チョコケーキ、オレンジジュース、お茶としました。このタイコーヒーはドイツンコーヒーというものを使用しました。

全来客数は、数えられただけでものべ110人でした。今年は企画実施場所がモノレールの駅に近いこともあり大変多くの方に来ていただくことができたように感じます。なかには、活動自体に興味をもってたくさんの方を尋ねてくれた方もいらっしゃいました。また、PC上でパワーポイントを自動再生にすることで、コーヒーを飲みながら活動を見てもらうことができたためお客さんとの話題作りにもなりました。壁展示は飲食の注文をしないお客さんでも気軽に活動を知ってもらうことに繋がりました。

ここには書きませんが、活動紹介だけではなく、飲食の仕入れや装飾など大まかなところから細かいところ、目立つところから目立たないところまで、たくさんの方の協力があって無事に終了することができました。白門祭係の2人をはじめとするひつじぐものみなさん、そして八王子ワイズメンズクラブをはじめとする、ひつじの森Caféにいらしたみなさんに深くお礼申し上げます。



中大白門祭に参加したワイズメンとひつじぐも

2016年度 在京ワイズ新会

日時：2016年1月9日(土) 12:30～15:30

会場：桜美林大学 多摩アカデミーヒルズ

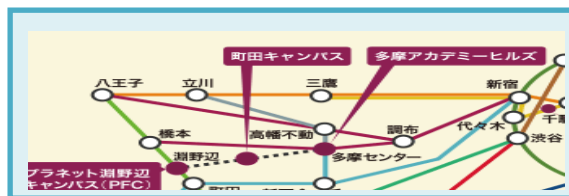
TEL 042-376-8511

第一部：新年礼拝(12:30～13:00)

奨励は薛 恩峰先生(桜美林大学チャプレン・専任講師)

第二部：懇親会(13:10～15:30)

実行委員長 久保田 貞視



高尾の森便り

高尾の森わくわくビレッジ報告

所長 佐藤 信也

11月に入り高尾の森わくわくビレッジは木々が紅葉で綺麗になって参りました。加えて朝晩は寒い日が続くようになって来ましたので、皆様もどうぞお身体をご自愛頂きお過ごし下さい。

さて、11月3日にTWVでは第10回わくわくフェスティバルが開催され2,500名を超える来場者がありました。様々な催し物が開催される中、今年は新たにスラックラインや東京都美術館のご協力で「キューパになろう」(環境教育の本)紹介イベント。森の音楽隊と称し、シンガーソングライターによるコンサートなども加わり大変盛り上がりしました。特にスラックラインでは、特別に日本オープンスラックライン選手権5連覇の福田恭巳選手によるデモンストレーションもありその演技に子ども達は目が点になるほど驚いておりました。また、当日ワイズガーデンの剪定作業を茂木ワイズが起こしになり花壇の整備をして頂きました。感謝します。少しずつですが、植えつけた花たちも生育してきました。この冬を乗り切り春には多くの花が咲くことが楽しみです。

TWVの宿泊予約は一般の方々(小グループ)では12月から2016年2月までの予約が可能です。ご家族、お友達ご友人にてご利用も頂けますので是非この機会にご利用頂きますようお願い申し上げます。



中大・学Y便り

中大ナイトに参加して

中央大学 YMCA シニア 藤永嵩秋

お世話になっております。中央大学 YMCA ひつじぐもシニアの藤永です。この自己紹介が長くて嫌です！さて、久しぶりにブリテンの記事を書かせて頂きます。今回のテーマは、勿論、中大学Yナイトについてです！

昨年からはまった八王子Y'sと連携した例会で、2年目である今年はひつじぐもの中心的な活動のタイスタディツアーの報告を聴くことが出来ました。担当は原田さんで、日本人スタッフが不在という状況の中でも懸命に英語でやり取りをしていることは前から知っていた分、とても大変だったのではないかと思います。

そういった厳しい状況の中でも実の詰まったプログラムを作って実現させたことに深く敬意を表します。

中大学Yナイトでは懐かしい後輩や新人を見ることも出来ましたので、彼ら彼女らの今後のがとても楽しみで仕方がありません。

4年生は卒論や就職活動で忙しい時期であったために顔を見ることは出来ませんでした。相変わらずの元気さで日々を過ごしているだろうと想像しております。また今の3年生たちは私が委員長であった当時の1年生でしたので、大きく変わった姿が見れてとても嬉しかったですし、時が経つ早さを実感しております。

もうすぐ冬の時期がやってきて鍋が美味しくなる季節です。みんなで鍋を囲いながら居心地の良い空間を作っていってほしいと思います。



(お 話)

愛敵の有名な聖句の冒頭で、その後さらに続いています。日本の平和憲法にノーベル賞をという運動に触発されて思いついた聖句です。キリスト新聞は「平和憲法を守れ」と「再軍備絶対反対」との標語を6年間掲載してきて、その「標語の実質を問う」という特集をしています。

今回の平和賞はなんと北アフリカのチュニジアで、宗教に基づく政治を目指すイスラム系政党による暫定政権と、政教分離を重んじる世俗政党を含む野党側との歩み寄りを促進して民主化の一步を歩み始めているのを後押しする授賞のようです。

ノルウェーのノーベル委員会もよく検討しています。違憲立法が賛成多数で国会を通るような国の憲法は絵に描いた餅みたいなものではないでしょうか。イエスの説かれる平和の道は陰しいものです。その陰しさを標語に表せないものかと思えます。

仲田達男

報 告

◎10月第一例会 10月10日(土) 18:00~20:00
 会場:北野事務所 2F大会議室
 中大学Yナイト例会として開催
 あずさ部部長 標 克明氏 公式訪問
 受付(井上・3年、佐藤・1年、宮本・1年)
 司会(佐藤(克)2年)
 あずさ部部長挨拶 標 克明ワイズ(甲府クラブ)
 食前感謝(渋谷・3年)
 卓話「タイスタディーツアー活動報告」原田未央・2年
 スマイルと報告(牧野・2年)
 金額・・・集まった金額17,295円に、常総市水害支援金としてクラブ会計から2,705円を足して丁度20,000円を、日本YMCA 同盟宛てに10月13日振込み。

○ 報告、連絡事項

- ・会長・・・東京武蔵野多摩合同例会・10月14日6:30~
- ・西東京センター:夏のリーダープログラム報告と懇親会
参加者(久保田、長谷川、並木、山本、小口)
- ・クラブ会計より感謝会費15,000円支援。
- ・第19回あずさ部会・・・10月18日甲府にて、
講演「モノづくりを通しての国際貢献・地雷除去に挑む」
講師 雨宮 清
第二部・懇親会 参加者(中塚、久保田、長谷川、小口)

◎10月第二例会・・・10月24日(土) 北野事務所
 ・担当主事の交替・・・11月より鳩山徹郎さんが北米・フロストバレーへの転勤にあたり中里 敦さんに交替。

○ 各報告・連絡事項

- ・並木:第18回チャリティーコンサートについて、
2016年3月12日(土)北野市民センターに先行予約
出演者は昨年と同じく、三上佳子さん、川村敬一さんの
歌とピアノは大杉祥子さんに決定。
ただし、後援の八王子市の方から、ちらしに記載の「全額寄付」のことで、今後のチラシには、全額寄付と付記しないこととする。(後日、相談)へ
- ・中塚:中央大学学園祭・白門祭について 期間10月29日~11月1日11時から4時
国際ボランティアサークルひつじぐもブース「ひつじの森café」への参加者を募集。
- ・茂木:DBC合同例会(2016年5月)の内容。
日時:2016年5月21日~22日 場所は未定。
場所決めのために、10月初めに静岡県久能山、日本平の
実地に出かけたが、階段が多く考慮中、その為にあらたに浜松を検討中である。
高尾の森わくわくビレッジのワイズガーデンの取り組みについて、10月末ごろにジャーマンアイリスの植え込みをしたい。
- ・久保田:2016年在京ワイズ新年会
(八王子クラブのホスト)

1月9日(土)桜美林大学多摩アカデミーヒルズにて、
 (9月30日に打ち合わせに長谷川会長と行く)
 会費、5000円、受付11時30分~、
 桜美林大学学生の演奏、奨励、薛(しゅえ)恩峰牧師
 在京会長会が事前の10時~11時45分まで。

12月12日(土)クリスマス例会
 会場:大学セミナーハウス 交友館
 受付17:30~
 クリスマス例会第一部 18:00~18:50
 祝会 19:10~21:00
 会費:メン・・・2500円
 (クラブ会計から1000円)
 メネット・ゲスト・ビジタ・・・3500円
 中大生・・・1500円

ボランティア活動

* 老人デイサービスセンター鍵水*

【報告】

10月15日(木)手工芸 14:00~15:00
 参加者:石井・色川・久保田・昆・赤羽・下重・調
 多河・山口・山中・茂木

11月5日(木)手工芸

参加者:色川・下重・調・多河・山口・山中・茂木

【予定】

12月4日(金)手工芸 14:00~15:00

BF報告

9月切手 国内:500g(津田)

累計:1198g

外国:0g 累計:25g 総累計:1223g

9月プルタブ 170g(茂木)170g(多河)

170g(久保田) 累計:2206g

11月 卓話者 齋藤道彦教授のご紹介
 1943年 東京で生まれる
 1972年 東京大学大学院人文科学研究科中国語中国文学博士過程単位取得 満期退学
 1975年 中央大学専任講師を経て
 1982~2014年 同教授
 1985~1987年 中国南開大学訪問研究
 1999年 NHK ラジオ中国語講座講師
 最近の著書:『アジア史入門 日本人の常識』(白帝社 2010年)、『日本人のための尖閣諸島史』(ふたば新書 2014年)、『尖閣問題総論』(創英社 2014年 自費出版)

11月誕生日の皆さん
 福田 勝江 11月 11日
 山本 英次 11月 26日